

別紙

平成 27 年度企画提案型協働事業（第 2 次審査）
印西市木下地区歴史講座
提案に関する委員会付帯意見

- 1 地域おこしにつながるような提案内容の刷新を図ってください。
- 2 特に若い世代や千葉ニュータウン地域からの参加が増えるよう、企画内容や P R 方法の工夫に努めてください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

内容の刷新を！

- ・今日レベルアップを期待したのですが…。住む街の歴史を知り、愛着を持つための活動は、重要だと思います。ただ同様イベントは、他にもあり、今提案内容が今までと変わらないものとなると残念です。
- ・地域ブランドのツールとして、利用できるような新たな展開が必要ではないか。

新たな展開を

- ・これまで実施してきた各講座を冊子等にまとめて、市民にPRする様な取り組みも考えてみてはいかがでしょうか。
- ・地域起しの一端の役割を担えるようになるのか。
- ・地域起しとしての実績と成果は。
- ・観光資源として将来的な展望は。
- ・歴史講座事業に終るのではなく、他の郷土史や市民ガイドなどのグループと協働して、郷土文化、歴史を知ってもらう市民参加型のイベント開催を期待します。

参加者の拡大を

- ・講座参加者の若返り、及びニュータウン等の印西市民の参加者（ネット等の呼びかけによる他地区からの参加者の増加ではなく）をもっと増やしてもらいたいと思う。
- ・特に、新住民の方々にむけて広報を行い、多くの市民と町の歴史をシェアしていただきたい。子どもたちへの講座を開講していただきたい。
- ・人気の高い特別講座の更なる充実を図って頂きたい。特に若い年代層にも参加して頂く企画（親子セミナー等）については、市と協力の上、更なる発展のための努力を継続して頂きたい。
- ・講座受講者は、その後、印西市のふるさと意識の醸成とまちの活性化に貢献しているのか。
- ・市外からの訪問者を呼込む手立ては検討しているのか。
- ・参加者が徐々に増加している様な実績となっていますが、ほとんどがリピータであれば、増えているとは言い難いと思います。底辺を拡大する取り組みを是非進めて下さい。
- ・どんな方法でPRを検討しているのか。

その他

- ・かつて木下河岸と利根川水運により隆盛をきわめた木下の歴史を、明治24年築の吉岡まちかど蔵を軸に、印西市民に広く知らしめる、良き場と機会を提供していると思う。
- ・印西市の歴史を語る上で、かかせない木下河岸・町家等の文化資産を市民協働事業として講座を進める事は、重要な意味のある事だと考えます。
- ・吉岡家の知名度には疑問はあるが、参加者、企画とも協働事業として妥当と考える。